

「気がつくと 私は 自分の肉体の外に立っていました」

紙芝居

松戸 開催

人は死なない

— 実話 —

1891年に亡くなったジュリアという若く聡明な
ジャーナリストの、あの世からの通信です

「ジュリアの音信」

山波言太郎 作・朗読 (CD)

進行 鳴嶋節子 (山波財団会員)

死んだらどうなる？
そして今を生きる意味とは

(主な内容)

死の瞬間、死の直後、
死後の世界、生まれ変わり

宗教や哲学ではなく、近代心霊研究とネオ・スピリ
チュアリズムに基づいた「死について」を、優しい
絵と語りでご覧いただきます。質疑応答でゆっくりお
話もいたしましょう。

“ 本当は 本人は一向に死んでいないのです ”
“ 最悪の出来事でも 実は最善のことが随分とあるのです ” (ジュリアの内容から一言)

当団体は宗教および宗教団体とは一切関係ありません

2026年 10月31日(土) 午後1時30分～4時 (受付1時～)

会 場 松戸市民会館 2階 201会議室 【地図・会場案内は裏面です】
(JR常磐線・京成電鉄松戸線「松戸駅」下車 東口より徒歩7分)

(要予約) ※ 定員になり次第締め切ります

申込み・問い合わせ先

Tel・Fax 047(369)0678 山波財団 受付担当 (ハヤシ)

主催



一般財団法人 山波言太郎総合文化財団

神奈川県 鎌倉市 由比ガ浜 4-4-11 ☎0467 (24) 6564 HP : yamanami-zaidan.jp

山波財団の最新情報は
こちらから



松戸市民会館

〒271-0092 千葉県 松戸市 松戸1389番地の1 (☎ 047-368-1237)

【松戸市民会館アクセス】



【交通】JR 常磐線または京成電鉄松戸線「松戸駅」下車。東口より徒歩約7分

【駐車場】台数が限られております。公共交通機関等をご利用いただきますようご協力をお願いします。
松戸駅西口地下駐車場がオススメです！

【休館日】毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）及び、年末年始



作・朗読(CD) 山波言太郎 (やまなみげんたろう) (1921-2013)

(本名 桑原啓善 (くわはらひろよし)) 詩人、自然音楽作詞家、心霊研究家で当財団創業者。

地球の恒久平和のために生涯を捧げ、ネオ・スピリチュアリズムを唱導してリラヴォイス開発、デクノボー方式朗読法、リラ自然音楽セラピー創始等、当財団のすべての基礎を創る。著訳書多数。